

大きくな〜れ!

おいしいお芋が
できるようにみんなで、
おまじないを
かけましょう!!



葉っぱを
向こうの林に向けて、
斜めに土に
植えましょう!!



さつまいもの
苗だよ。



おいしいお芋に
育ててね!



六月二十一日、市内こども園の園児たちが農業委員、農地利用最適化推進委員、VICウーマンの方々と共に市農業センター敷地内の畑で、さつまいもの苗の定植体験を行いました。

毎年恒例となるこの事業は、次代を担う子どもたちが作業を通じて食べ物ができる過程を学ぶとともに、食と農の結びつきを感じて農業に興味を持ってもらうことを目的に実施しています。

コロナ禍とあって、今年度は時間をずらし、他園児たちが接触しないよう感染対策に配慮しながらの定植となりました。

当日は、五団体総勢八〇名ほどで、三百五十本の苗を定植しました。

子どもたちは、「大きくな〜れ!」というかけ声を掛けながら、秋の収穫を楽しみに植え付け作業を行っていました。



農業委員、農地利用最適化推進委員と共にさつまいもの定植を行う園児たち

総会の開催予定



〇令和3年 第9回総会
8月10日(火) 15:00~

市役所2階 B・C会議室

〇令和3年 第10回総会
9月10日(金) 15:00~

市役所2階 B・C会議室

※法令により総会等の会議は公開されております。
また、会議録は農業委員会事務局にて縦覧できます。

【問い合わせ先】農業委員会
☎ 35-2111 (内線2881)

各種申請の締切り日

◎農地法第4条申請、第5条申請

・農地を農地以外のものとして使用する場合

例：住宅・車庫・店舗建築

毎月25日締切り (25日が市役所閉庁日の場合は翌開庁日)

◎農地法第3条申請、農用地利用集積計画の同意、競売・公売買受適格証明願

・農地を農地として貸借・売買する場合、競売・公売の入札に参加する場合

毎月25日締切り (25日が市役所閉庁日の場合は翌開庁日)

◎あっせん申出

・あっせんにより農地を売買する場合

毎月5日締切り (5日が市役所閉庁日の場合は翌開庁日)

【問い合わせ先】農業委員会
☎ 35-2111 (内線2884、2885)

青森県より

県内における感染状況は新規感染者の発生が散発的となるなど、落ち着きを見せてきましたが、青森県内においてもN501Y変異株の発生割合が増加し、感染が再び広がるおそれがあるため、引き続き皆様には感染拡大予防についてご協力をよろしくお願いします。

県民の皆様へのお願い 新型コロナ感染拡大防止



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>

三村申吾知事のメッセージや青森県感染症対策コーディネーターの大西基喜先生が、新型コロナウイルス感染症やその予防策について解説する動画等をご覧ください。

農地情報 令和3年7月現在

下記の農地について、受け手を捜しています。価格等の条件は交渉できる場合もあります。農地の位置図もありますので興味のある方は、事務局農地係までご連絡ください。

番号	受付番号	区分	農地所在	地目	面積(a)	圃場整備有無	利用状況	10a当たり希望価格
1	334	売渡	太田山の井	田	42.57		休耕田	応相談
2	334	売渡	太田山の井	畑	7.23		休耕畑	応相談
3	334	売渡	太田太田山	畑	15.87		休耕畑	応相談
4	321	売渡	金木町川倉宇田野	畑	13.55	無	非耕作	登記手数料相当額
5	335	売渡	金木町川倉七夕野	畑	11.52	無	非耕作	交渉次第
6	321	売渡	金木町川倉林下	田	1.68	無	非耕作	登記手数料相当額
7	329	売渡	金木町朝日山	田	1.70		非耕作	応相談
8	329	売渡	金木町喜良市新富田	田	2.83		非耕作	応相談
9	312	売渡貸付	金木町嘉瀬上端山崎	田	35.69		非耕作	応相談
10	317	売渡貸付	飯詰影日沢	畑	9.12		りんご	応相談
11	311	売渡貸付	沖飯詰男鹿	田	17.80		水稲	応相談
12	315	貸付	沖飯詰鴻ノ巣	田	5.58		水稲	応相談
13	332	売渡	鶴ヶ岡福田	田	40.60		水稲	応相談
14	332	売渡	高瀬鷹ノ爪	田	45.04		水稲	応相談
15	327	貸付	豊成田子ノ浦	田	73.44		休耕田	1万円
16	314	売渡貸付	神山鶴野	畑	137.62		非耕作	応相談
17	309	売渡貸付	金山八重田	田	60.87		牧草	応相談
18	316	貸付	小曲沼田	畑	18.71		休耕畑	応相談
19	333	売渡	小曲豊成	田	3.94		休耕田	応相談
20	328	売渡貸付	前田野目砂	田	61.27		休耕田	応相談
21	325	売渡貸付	羽野木沢隈	無田	1.25		水稲	応相談



※農地を売りたい方・買いたい方、貸したい方・借りたい方にご相談ください。
【問い合わせ先】農業委員会 (内線2885)

しっかり積立、がっちりサポート 安心で豊かな老後を

農業者のみなさん、 農業者年金に加入しませんか?

- ◆農業者の方なら広く加入できる
- ◆少子高齢化に強い積立方式
(確定拠出型の年金)
- ◆保険料(月額2万~6万7千円)は選べて、いつでも変更可能
- ◆終身年金で、80歳前に死亡した場合は一時金が遺族へ
- ◆保険料が全額社会保険料控除になるなど税制の優遇で節税に
- ◆認定農業者など意欲ある担い手には保険料の国庫補助あり

【問い合わせ先】農業委員会
☎ 35-2111 (内線2882)

ミサオおばあちゃん 春の叙勲受章

祝



桑田 ミサオさん 旭日単光章を受章

今や「ミサオおばあちゃんの笹餅」として有名な桑田ミサオさんが、食料品加工業振興に功績のあった者として、令和3年春の叙勲（旭日単光章）を受章されました。

ミサオさんは亡き母から「ミサオ、この10本の指が黄金の山だよ。この10本の指さえ動かしていれば、お金に不自由しないから。」と、幼少の頃から餅づくりや裁縫を手伝っていました。

幼稚園の調理員として働いていましたが、定年後は、農協の婦人部に加え山菜や漬物販売に取り組んだり、得意の歌や踊りを披露しに施設を慰問して活動していました。ある介護施設を慰問した際、みんなに食べてもらおうと、あわ餅を持って行ったところ、それを食べて「おいしい、懐かしい」と涙を流しながら喜んだおばあさんの姿を見て、ミサオさんは『餅1個で、こんなに喜んでもらい感動させられるなんて!! この活動を一生続けよう。』と決心し、平成14年75歳にして加工施設を設け、本格的に餅や赤飯などの加工販売を始めました。

平成18年からは五所川原市と中泊町を結ぶ津軽鉄道の活性化のため「津鉄応援直売会」に加入し、列車内で得意のじょんがら節を歌い、観光客をもてなしながら餅類を販売をするなど地域振興にも力を注ぎました。

本格的に笹餅づくりを始めてから19年の月日が過ぎ、ミサオさんは現在94歳となりました。「95歳で餅づくりは止めるとのことでしたが?」との問いかけに、『その時になってみないと分からないけど、得意の裁縫や編み物、餅づくりを楽しみながら何かやってみたい。』と計画中のようです。ミサオおばあちゃん、この度は、受章おめでとうございました。心よりお祝い申し上げます。また、これからもお元気で、ご活躍されることを願っています。

幼稚園の調理員として働いていましたが、定年後は、農協の婦人部に加え山菜や漬物販売に取り組んだり、得意の歌や踊りを披露しに施設を慰問して活動していました。ある介護施設を慰問した際、みんなに食べてもらおうと、あわ餅を持って行ったところ、それを食べて「おいしい、懐かしい」と涙を流しながら喜んだおばあさんの姿を見て、ミサオさんは『餅1個で、こんなに喜んでもらい感動させられるなんて!! この活動を一生続けよう。』と決心し、平成14年75歳にして加工施設を設け、本格的に餅や赤飯などの加工販売を始めました。

平成18年からは五所川原市と中泊町を結ぶ津軽鉄道の活性化のため「津鉄応援直売会」に加入し、列車内で得意のじょんがら節を歌い、観光客をもてなしながら餅類を販売をするなど地域振興にも力を注ぎました。

本格的に笹餅づくりを始めてから19年の月日が過ぎ、ミサオさんは現在94歳となりました。「95歳で餅づくりは止めるとのことでしたが?」との問いかけに、『その時になってみないと分からないけど、得意の裁縫や編み物、餅づくりを楽しみながら何かやってみたい。』と計画中のようです。ミサオおばあちゃん、この度は、受章おめでとうございました。心よりお祝い申し上げます。また、これからもお元気で、ご活躍されることを願っています。

①蒸した餅を丸めます ②笹に包みます ③蒸し器に入れ、再度蒸します ④冷ました後、袋詰めします。 ⑤完成

【※注意】ご本人が作った笹餅は、毎月第2、4土曜日スーパーストア金木タウンセンター店で購入できます。詳細は(株)スーパーストアHPをご覧ください。ご自宅や、工房では購入できませんのでご注意ください。

6月11日 夕市スタート!!



挨拶する小野妙子会長



夕市を見学し買い物する市長



品定めし、買い物する客たち

6月11日、五所川原市地産地消を進める会(会長=小野妙子)では、みどり町四丁目のコミュニティセンター栄駐車場にて、夕市をスタートさせました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、例年6月からスタートの夕市が延期となり7月開始となってしまいました。今年度は新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じた上で、例年通り6月からスタートさせることができました。

今年度は、佐々木孝昌市長が夕市に参加し『小中学校の給食に地元でとれた安全・安心な食材を取り入れ子どもたちに提供したい。』と冒頭で挨拶された後、夕市を見学し買い物されました。

五所川原市地産地消を進める会では、毎週金曜日、会員が丹精込めて栽培した農産物等をたくさん用意し、みなさんのお越しをお待ちしておりますので、どうぞお立ち寄りください。

～今後の夕市の予定～

7月23日(金)	8月6日(金)	9月3日(金)	※時間はいずれも16:30~17:30。
7月30日(金)	8月20日(金)	9月10日(金)	※8月13日(金)はお盆でお休みです。
	8月27日(金)	9月17日(金)	
		9月24日(金)	

【注意】農産物が無くなり次第終了となります。天候等により中止となる場合がございますので、ご了承ください。10月からは開催時間が15:30~16:30と変更になります。

【問い合わせ先】農業委員会(内線2883)

三村県知事 市内りんご農家を激励

7月12日、市内高野の福士美奈子さんの園地を三村申吾県知事が訪れました。会場には、佐々木孝昌市長をはじめ、農業委員会会長、地域の農業者・関係者等約100名ほどが集まりました。三村知事は生産者たちに『高品質生産のため、適正着果をお願いします。』と、激励の挨拶をされた後、生産者たちとの意見交換を行いました。

また、りんご園を視察した後、園主の福士さんの指導のもと知事自ら摘果を実践しました。最後に、日本一、世界一の『青森のりんご』を目指して一致団結し、高品質なりんごの安定生産へ向け「ガンパロー」三唱をしました。

農地パトロールを実施します!!

令和3年度も8月中旬から、耕作放棄地の現地調査と利用状況調査を実施します。この調査は、当市の農地全てを調査することにより、無断転用や耕作放棄地及び以前に指導を行った耕作放棄地の現状を把握し、地域の重要な資源である農地を守るための指導対象とすることや、耕作放棄地の再生利用に向けた事業及び「人・農地プラン」の作成活動に結びつけていくために実施するものです。

調査のため、農業委員、農地利用最適化推進委員、農林水産課職員、農業委員会事務局職員が農地に立ち入る場合もありますのでご理解とご協力をお願いします。

五所川原市地産地消を進める会勉強会



説明を受け熱心にメモをとる会員たち



畑の畝間に敷く稲わら



メロンを見学する会員たち



受粉後雄花を切るとアブラムシ予防に



苗代のビニールを活用

※五所川原市地産地消を進める会では、随時会員を募集しております。【問い合わせ先】農業委員会(内線2883)

五所川原市地産地消を進める会では、お客様により高品質の農産物を提供できるよう勉強会を開催しております。

今年度は、メロンとトウモロコシに定評がある会員の上見時子さんの畑を見学しました。

上見さんのメロンとトウモロコシは、夕市に出品すると、あっという間に売り切れてしまうほど人気です。会員から「メロンを栽培してみたが、うまくいかない。」「上見さんのように綺麗で、まっすぐな甘くておいしいトウモロコシをつくってみたい。」との声があがり、今回の勉強会となりました。

上見さんは、幼い頃から父母がつくるメロン栽培を手伝っていたそうで、今回の勉強会では、父母から直伝のメロンの栽培方法を教えていただきました。会員は、畝作りや、肥料の種類、交配のタイミングなど次々に質問をし、熱心にメモをとっていました。

その後は、独自の工夫点など説明を受けながら畑を見学し栽培方法を学びました。